

## 第4章 日進市の概況

### 4-1 位置・地勢

日進市は、愛知県のほぼ中央部である尾張と三河の境に位置し、西は名古屋市東部、東は豊田市・みよし市、南は東郷町、北は長久手町にそれぞれ隣接しています。

行政区域は東西 8.9km、南北 6.8kmで、面積は 34.90km<sup>2</sup>を有し、標高 37mの日進市役所を中心に、周囲を標高 50mから 160mの丘陵地により形成されています。

市のほぼ中央部を天白川が東西に流れ、その流域の平地には農耕地が広がっています。



### 4-2 人口・世帯・1世帯当たりの人員

人口・世帯数・1世帯当たりの人員の推移を下表に示します。

(各年 10月1日現在)

日進市 人口・世帯数		単位	H2	H4	H6	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20
			1990年	1992年	1994年	1996年	1998年	2000年	2002年	2004年	2006年	2008年
人口	男	人	25,680	26,841	28,539	31,593	33,662	35,431	36,682	38,520	40,222	41,462
	女	人	24,655	25,925	27,820	31,186	33,039	34,757	36,235	38,202	39,559	40,703
	計	人	50,335	52,766	56,359	62,779	66,701	70,188	72,917	76,722	79,781	82,165
	対H2比率	%	100%	105%	112%	125%	133%	139%	145%	152%	159%	163%
世帯数	戸数	戸	17,104	18,382	20,067	23,012	24,804	26,215	27,529	29,361	31,062	32,441
	対H2比率	%	100%	107%	117%	135%	145%	153%	161%	172%	182%	190%
1世帯 人員	人員	人/戸	2.94	2.87	2.81	2.73	2.69	2.68	2.65	2.61	2.57	2.53
	対H2比率	%	100%	98%	95%	93%	91%	91%	90%	89%	87%	86%

表 4-2-1 人口・世帯数・1世帯当たりの人員 (出典：愛知県統計年鑑)

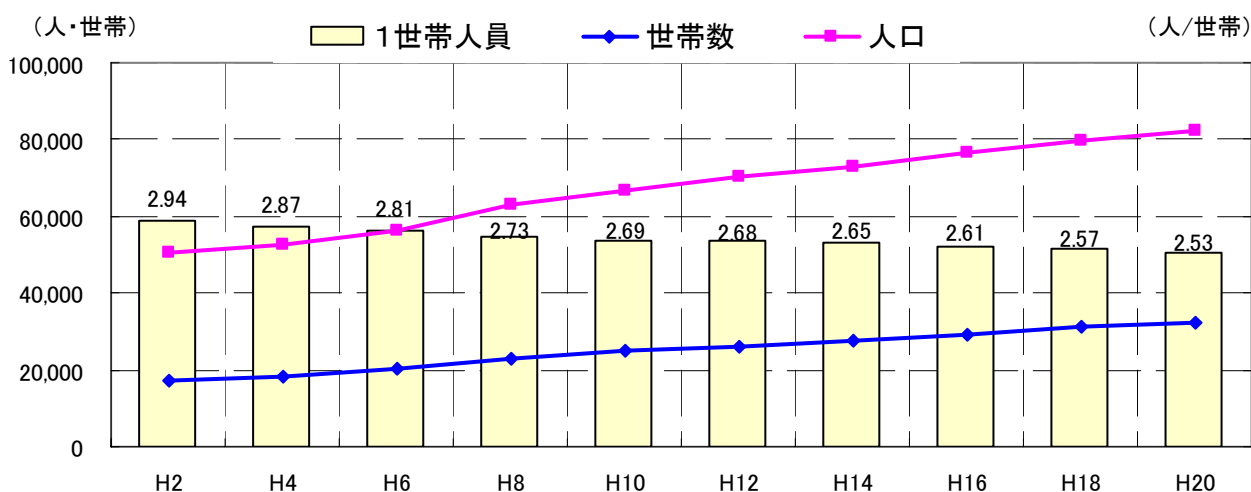


図 4-2-1 人口・世帯数・1世帯当たりの人員 (出典：愛知県統計年鑑)

人口と世帯数は、平成2年度以降増加傾向を示しています。平成2年度から平成20年度の19年間で人口が約 1.6 倍、世帯数が約 1.9 倍に増加しています。1世帯あたりの世帯人員は年々減少しており、平成20年度では平成2年度対比で 14%減少しています。

## 4-3 産業・経済

### (1) 産業別従業者数推移

産業別従業者数推移を下表に示します。

産業種類別就業者数		H3	H8	H11	H13	H16	H18
		1991年	1996年	1999年	2001年	2004年	2006年
1次産業	人	15	5	21	24	27	77
	対H3比率	100%	33%	140%	160%	180%	513%
2次産業	人	6,542	6,481	6,236	6,230	6,815	6,712
	対H3比率	100%	99%	95%	95%	104%	103%
3次産業	人	11,263	16,567	16,452	18,842	17,851	22,053
	対H3比率	100%	147%	146%	167%	158%	196%
計	人	17,820	23,053	22,709	25,096	24,693	28,842
	対H3比率	100%	129%	127%	141%	139%	162%

※1次産業：農業 2次産業：建設業・製造業 3次産業：電気・ガス・水道業、運輸ほかサービス業  
※調査が実施された年を掲載

表 4-3-1 産業別従業者数推移（出典：愛知県統計年鑑）

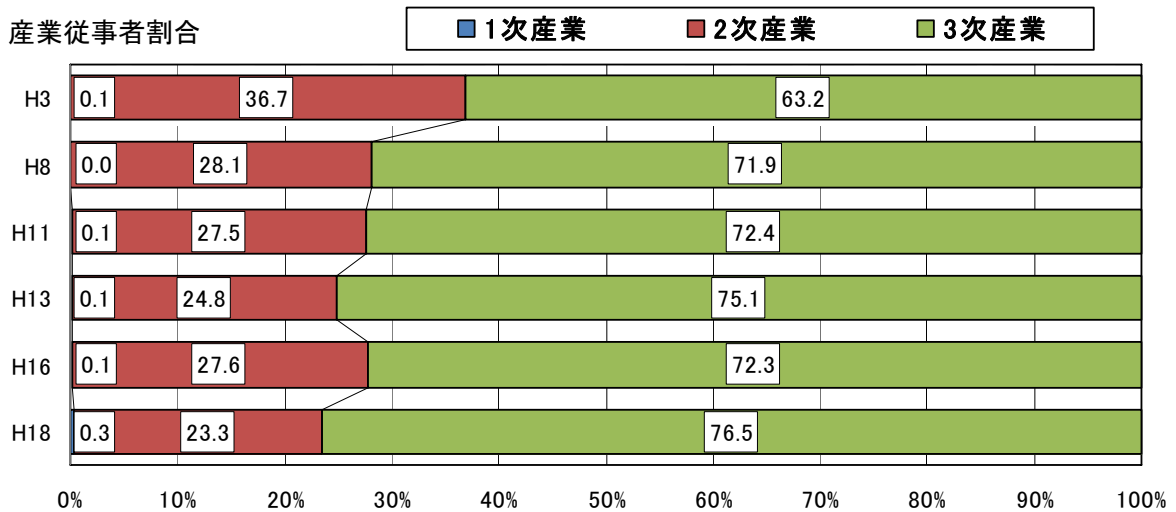


図 4-3-1 産業別従業者割合（出典：愛知県統計年鑑）

第1次産業（農業）従業者数は、平成8年度に減少しましたが平成11年度以降は増加しており、増加率では全産業中で一番大きくなっています。しかしながら、全産業に占める比率は、平成18年度においても全体の0.3%です。第2次産業（建設・製造業）従業者数は、ほぼ横ばい状態です。全産業に占める比率は、平成3年度では36.7%でしたが平成18年度では23.3%まで減少しています。第3次産業（電気・ガス・水道業、運輸ほかサービス業）従業者数は、平成18年度では平成3年度対比で約2倍に増加しており、全産業に占める比率も76.5%と拡大しています。本市では、第3次産業が大きく発展しているといえます。

## (2) 製造業推移

製造業：事業所数・従業者数・製造品出荷額推移を下表に示します。

製造業	単位	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
		1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
事業所数	所	155	153	149	141	132	129	130	127	152
	対H2比率	100%	99%	96%	91%	85%	83%	84%	82%	98%
従業者数	人	4,147	4,191	4,092	3,929	3,802	3,750	3,663	3,581	3,727
	対H2比率	100%	101%	99%	95%	92%	90%	88%	86%	90%
製造品出荷額	千万円	12,975	13,722	14,513	13,729	12,457	12,358	11,818	11,036	11,045
	対H2比率	100%	106%	112%	106%	96%	95%	91%	85%	85%

製造業	単位	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
事業所数	所	143	148	133	125	127	119	119	114	120
	対H2比率	92%	95%	86%	81%	82%	77%	77%	74%	77%
従業者数	人	3,701	3,676	3,635	3,644	3,605	3,709	3,794	3,986	4,703
	対H2比率	89%	89%	88%	88%	87%	89%	91%	96%	113%
製造品出荷額	千万円	10,869	10,652	10,037	9,404	10,827	10,627	11,136	9,765	11,767
	対H2比率	84%	82%	77%	72%	83%	82%	86%	75%	91%

表 4-3-2 製造業：事業所数・従業者数・製造品出荷額推移（出典：工業統計）

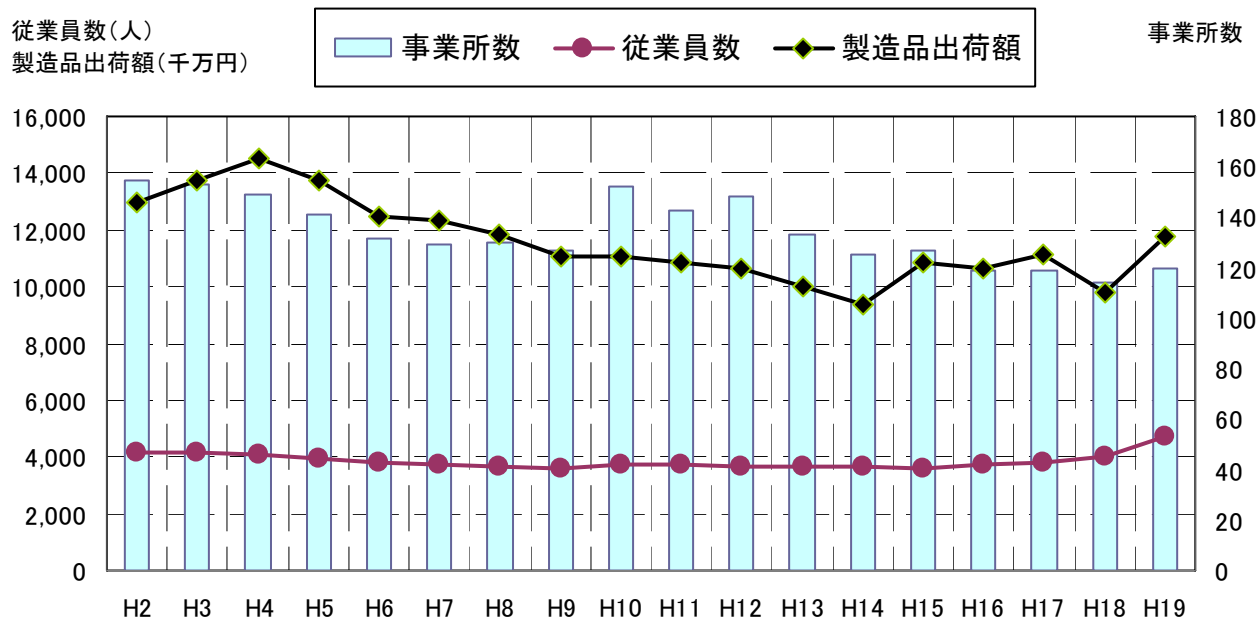


図 4-3-2 製造業：事業所数・従業者数・製造品出荷額推移（出典：工業統計）

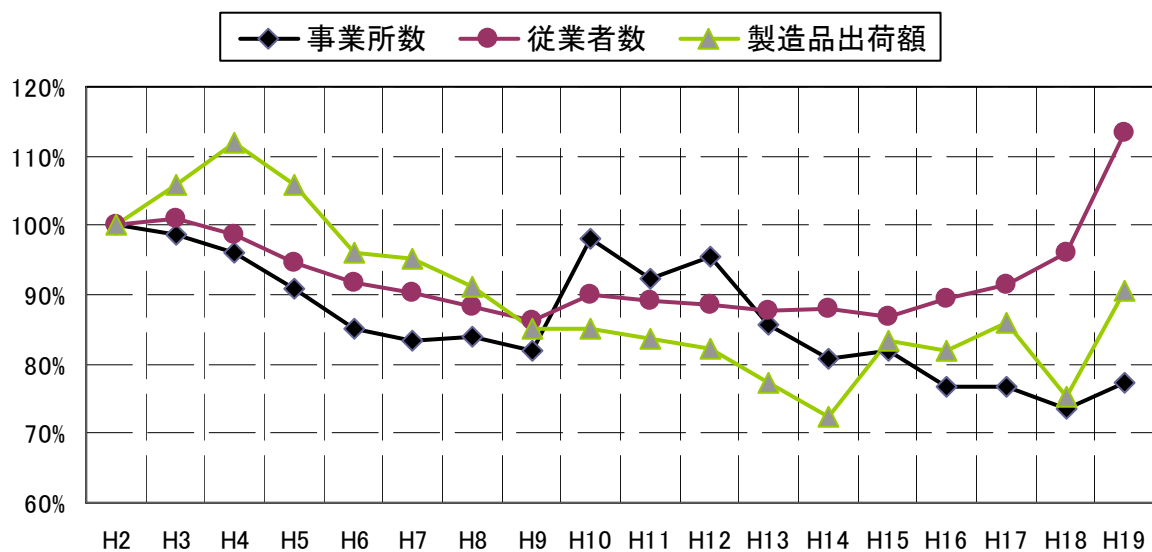


図 4-3-3 製造業：事業所数・従業者数・製造品出荷額増減率推移（出典：工業統計）

事業所数は、平成2年度以降減少していましたが、平成10年度増加し平成11年度以降減少しています。平成19年度では平成2年度対比で23%減少しています。

従業者数は平成3年度以降減少傾向でしたが、平成10年度以降は増加しています。平成19年度では平成2年度対比で13%増加しています。

製造品出荷額は平成4年度以降減少し、平成15年度以降で増加しています。平成19年度では平成2年度対比91%まで回復しています。

### (3) 商業推移

卸売業の商店数・従業者数・年間販売額の推移を下表に示します。

卸売業	単位	H3	H6	H9	H11	H14	H16	H19
		1991年	1994年	1997年	1999年	2002年	2004年	2007年
商店数	数	95	91	99	112	112	111	91
	対H3比率	100%	96%	104%	118%	118%	117%	96%
従業者数	人	669	792	885	1,009	1,514	1,543	1,314
	対H3比率	100%	118%	132%	151%	226%	231%	196%
年間販売額	百万円	40,315	39,585	62,732	47,205	78,821	75,824	100,958
	対H3比率	100%	98%	156%	117%	196%	188%	250%

※調査が実施された年を掲載

表 4-3-3 卸売業：商店数・従業者数・年間販売額推移（出典：愛知県統計年鑑）

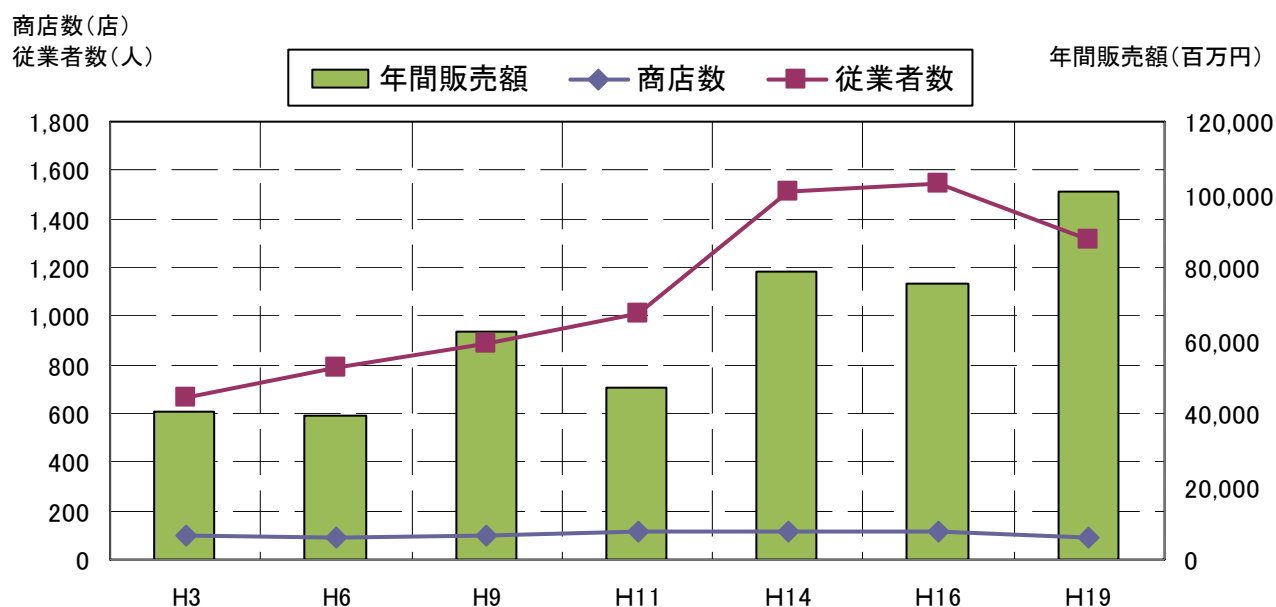


図 4-3-4 卸売業：商店数・従業者数・年間販売額推移（出典：愛知県統計年鑑）

卸売業の商店数は、平成3年度以降ほぼ横ばいです。

従業者数及び年間販売額は、増加傾向を示しています。平成19年度では、従業者数が平成3年度の約2倍、年間販売額が2.5倍に増加しています。

商店数の増加がなく従業者数及び年間販売額が2倍以上増加していることは、店舗の大型化が進んでいるものと考えられます。

次に小売業の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積の推移を下表に示します。

小売業	単位	H3	H6	H9	H11	H14	H16	H19
		1991年	1994年	1997年	1999年	2002年	2004年	2007年
商店数	数	345	383	433	399	385	399	402
	対H3比率	100%	111%	126%	116%	112%	116%	117%
従業者数	人	1,644	2,598	2,912	3,205	3,455	3,427	3,714
	対H3比率	100%	158%	177%	195%	210%	208%	226%
年間販売額	百万円	38,295	40,636	57,478	60,990	64,540	69,120	84,016
	対H3比率	100%	106%	150%	159%	169%	180%	219%
売場面積	m2	26,142	46,460	55,222	49,948	55,093	64,352	74,608
	対H3比率	100%	178%	211%	191%	211%	246%	285%

※調査が実施された年を掲載

表 4-3-4 小売業：商店数・従業者数・年間販売額・売場面積推移（出典：愛知県統計年鑑）

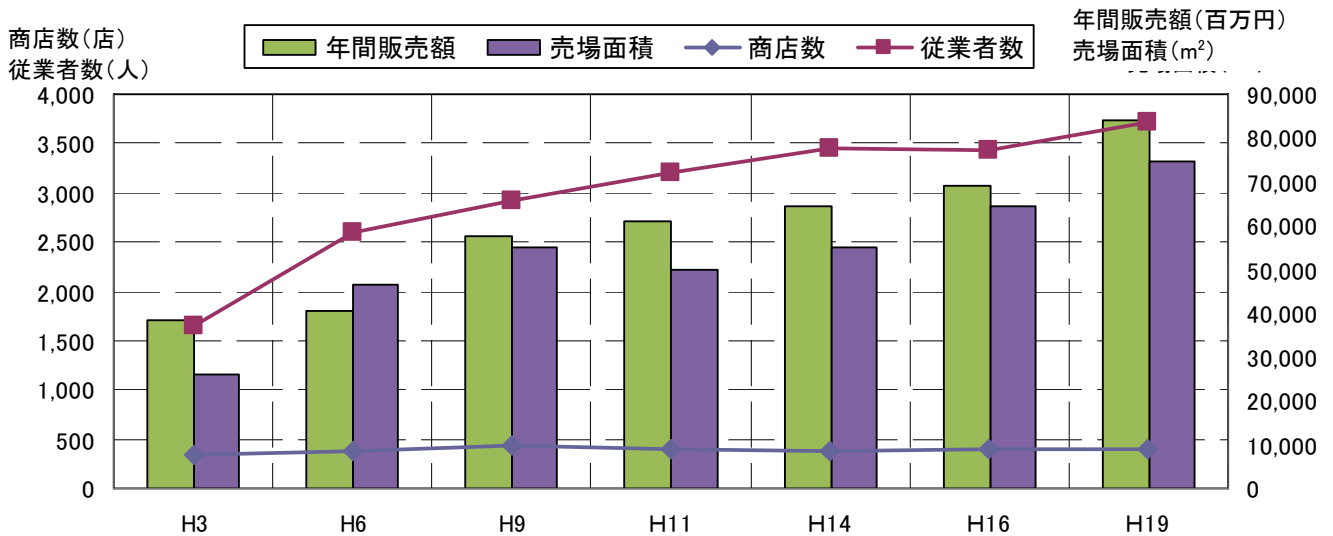


図 4-3-5 小売業：商店数・従業者数・年間販売額・売場面積推移（出典：愛知県統計年鑑）

小売業の商店数・従業者数・年間販売額・売場面積は、すべて増加傾向です。

従業者数・年間販売額は、平成 19 年度では平成 3 年度対比約 2.2 倍、売場面積は約 2.9 倍と増加しています。

卸売業と同様に、店舗の大型化が進んでいるものと考えられます。

## 4-4 自動車

自動車の車種別保有台数推移を下表に示します。

車種区分	項目	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
		1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年
総数	台数	21,401	22,753	24,188	26,430	27,701	29,369	31,101	32,350	33,092
	対H2比率	100%	106%	113%	123%	129%	137%	145%	151%	155%
普通貨物	台数	684	760	817	894	1,020	1,032	1,073	1,141	1,109
	対H2比率	100%	111%	119%	131%	149%	151%	157%	167%	162%
小型貨物	台数	2,539	2,593	2,633	2,655	2,694	2,702	2,743	2,683	2,608
	対H2比率	100%	102%	104%	105%	106%	106%	108%	106%	103%
被けんいん車 台数				3	3	6	8	7	7	11
普通乗合 台数		38	44	43	44	48	45	47	53	57
小型乗合 台数		40	37	39	42	40	40	39	37	35
普通乗用	台数	979	1,472	2,286	4,399	5,561	7,144	8,762	9,876	10,693
	対H2比率	100%	150%	234%	449%	568%	730%	895%	1009%	1092%
小型乗用	台数	16,761	17,464	17,960	17,905	17,820	17,778	17,712	17,698	17,601
	対H2比率	100%	104%	107%	107%	106%	106%	106%	106%	105%
特殊用途 台数		264	286	306	379	405	508	625	761	882
大型特殊 台数		96	97	101	109	107	112	93	94	96
小型二輪 台数		537	537	560	634	685	697	714	738	796
軽自動車	台数	3,819	3,981	4,020	4,365	4,634	4,998	5,385	5,721	6,124
	対H2比率	100%	104%	105%	114%	121%	131%	141%	150%	160%

車種区分	項目	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
		1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
総数	台数	34,169	35,132	35,696	36,361	37,141	37,860	38,122	38,393	38,519
	対H2比率	160%	164%	167%	170%	174%	177%	178%	179%	180%
普通貨物	台数	1,107	1,144	1,109	1,062	1,013	953	896	863	862
	対H2比率	162%	167%	162%	155%	148%	139%	131%	126%	126%
小型貨物	台数	2,581	2,567	2,592	2,529	2,452	2,327	2,184	2,071	2,049
	対H2比率	102%	101%	102%	100%	97%	92%	86%	82%	81%
被けんいん車 台数		11	13	13	13	14	18	18	18	13
普通乗合 台数		47	50	50	55	58	58	57	58	49
小型乗合 台数		34	34	30	30	29	31	26	27	25
普通乗用	台数	11,680	12,554	13,470	14,029	14,785	15,416	15,826	16,120	16,600
	対H2比率	1193%	1282%	1376%	1433%	1510%	1575%	1617%	1647%	1696%
小型乗用	台数	17,640	17,692	17,376	17,674	17,839	18,147	18,252	18,394	18,112
	対H2比率	105%	106%	104%	105%	106%	108%	109%	110%	108%
特殊用途 台数		973	976	952	862	846	804	760	738	705
大型特殊 台数		96	102	104	107	105	106	103	104	104
小型二輪 台数		840	832	890	954	962	1,008	1,076	1,124	1,185
軽自動車	台数	6,564	7,024	7,517	8,074	8,793	9,266	9,833	11,075	11,053
	対H2比率	172%	184%	197%	211%	230%	243%	257%	290%	289%

表 4-4-1 車種別保有台数推移 (出典：愛知県統計年鑑)

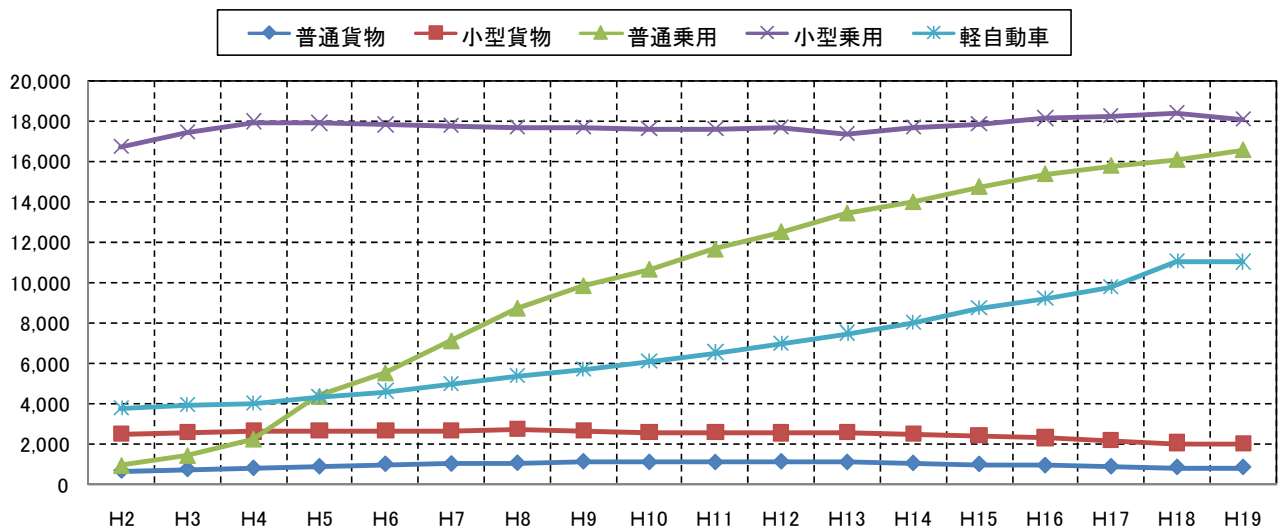


図 4-4-1 車種別保有台数推移 (出典：愛知県統計年鑑)

保有自動車の平成 19 年度の総数は、平成 2 年度対比で約 1.8 倍に増加しています。車種的には普通乗用及び軽自動車が大きく伸びています。

普通貨物は、平成 13 年度以降は減少傾向となっています。小型貨物も平成 14 年度以降減少しており、平成 19 年度には平成 2 年度対比で 19%減少しています。

## 4-5 森林・農用地

平成 19 年度の森林・農用地の面積を下表に示します。

面積 ha	区域面積	森林面積				農用地		その他 (宅地・雑種地など)	
		面積	森林率	国有林	民有林	面積	率	面積	率
H19	3,490	671	19.2%	3	668	506	14.5%	2,313	66.3%

表 4-5-1 平成 19 年度：森林・農用地面積（出典：愛知県統計年鑑）

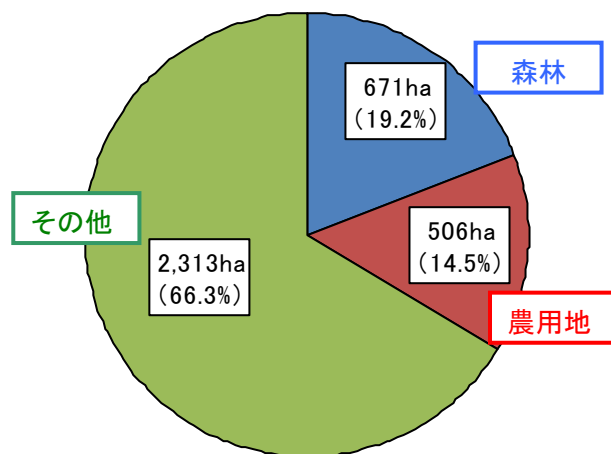


図 4-5-1 平成 19 年度：森林・農用地面積（出典：愛知県統計年鑑）

森林面積は日進市全面積の約 19%を占めています。森林面積のうち約 99.5%が民有林です。農用地は 14.5%を占めています。

森林・農用地合わせて約 34%となります。